



## QI+ 3 の新機能について

### タイルページ

- ・元のページを分割して、複数の別々のページに分ける事ができます。
- ・InDesign CS5 の新機能である「複数のページサイズ」によって作成された PDF では、「ワイドページを分割」する機能を使い、横長のページを分割する事ができます。
- ・面付け済みの PDF を分割する事ができます。
- ・オーバーラップ部分や裁ち落としの設定を追加する事ができます。

### ページツール

- ・ページの複製を使い易くして、その配列方法を選択する事ができます。
- ・縦長や横長のページを含む書類を、自動的に判別して回転させる事ができます。
- ・ページに対する「移動・回転・削除」機能が追加されました。(自動化シーケンス対応)

### ページサイズ

- ・ページサイズの調整が簡単にできます。
- ・縦横比を変更または、固定して拡大や縮小を行う事ができます。  
(拡大時に白色スペースを追加する設定も可能です)
- ・詳細設定により、裁ち落としマージンを保持する設定が可能です。
- ・指定のサイズにページを拡大・縮小できます。

- ・ページサイズの情報レポートできます。

### 挿入ページ

- ・PDF ファイルをページとして挿入できます。(複製も可能)
- ・ファイル又は空白ページを挿入する条件として、指定したページのサイズや、その他のサイズを指定する事ができます。
- ・最終ページから数えたページ番号の指定ができます。例：「last-2」は、最後から2ページ目に挿入されます。  
保持する設定が可能です。

### 文字列 / 番号を貼る

- ・ページ番号 / ファイル名 / 日付 / 書類タイトルを選択形式で貼り付ける事ができます。
- ・ページ番号を増加させる増量分と、逆に減少させる値の設定が可能です。  
(10,20,30 又は 9,8,7)
- ・ページ番号を繰り返す設定ができます。  
(001,001,002,002)
- ・ページ番号を指定ページ分スキップできます。

### ページ割付と丁付け

- ・「マージン・スペースの詳細設定」に裏面のミラー機能が追加されました。

### トリムシフト

- ・クリープアシスタント機能により、中綴じ面付け時のページシフトを簡単に設定できます。

## ページ組替え

- ・ ページ組替えでページを複製できます。  
またその場合のファイルサイズを減少します。
- ・ 組替えアシスタントは同一ページの指定に対応しました。
- ・ 組替えアシスタントは 8X8 のレイアウトに対応しました。

## 手動面付け

- ・ 「元に戻す」機能が追加されました。

## 処理速度の向上

- ・ Mac OSX では、ページ数の多い書類に対する処理速度を向上しました。
- ・ シーケンスの登録数が多い場合に、シーケンス表示と編集処理の速度を向上しました。

## PDF/X サポート

PDF/X-4

PDF/X-5

ISO 15930-7:2008

ISO 15930-7:2010

ISO 15930-8

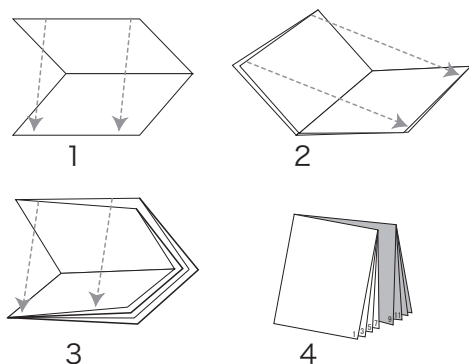
ISO 15930-8:1010

## イントロダクション

このガイドは、QI+ の簡易ガイドです。QI+ は、簡易なブックレット面付け、複雑な折丁、さらに多くの機能を提供する Acrobat プラグインです。QI+ では面付け処理の自動化、及びその他強力な機能を持っています。

### 面付けの理解

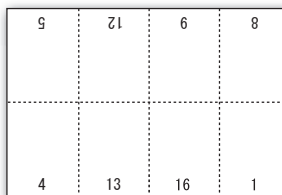
印刷用面付けに不慣れな場合は、「折丁サンプル」を作り確認します。



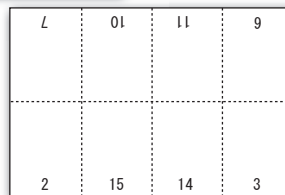
1. 紙の中心で半分に折り重ねて下さい。
2. 2つの短い端を持って、図のように折り重ねます。
3. さらにその後、2つの短い端を持って、図のように折り重ねます。
4. ページが正常な本となるように、表と裏に数を書き込んで下さい。

例と同じ折りならば、折り重なるサンプル上のページ番号は例と一致します。

紙のシートを開いて下さい。シートが折り重ねられる方法は、ページを組替える方法も決定します。



表面



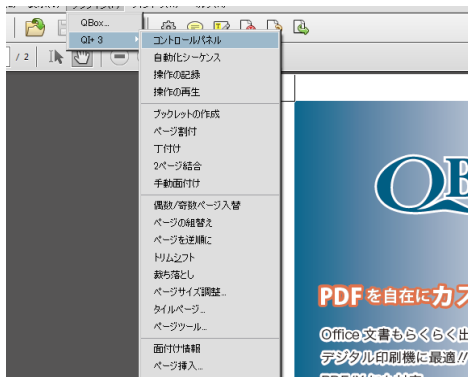
裏面

面付けを決定する順序以外に、出版の準備をする場合、他の考え方もあります。印刷される印刷マークの種類及びレイアウトも検討する必要があります。

本が中綴じ又は平綴じ（又はその他の折り設定）である場合、シートをレイアウトするには、クリーブに対する補正、及び各ページのトリミングの為の設定を行う必要があります。

## はじめに

ソフトウェアをインストールすると、Adobe Acrobat のプラグインメニュー QI+ が追加されます。

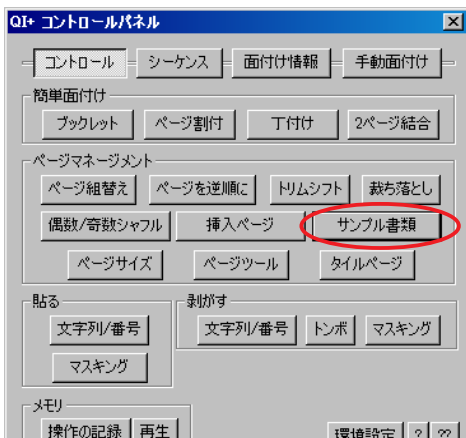


## ブックレット作成

1) この例では 32 ページ A4 サイズ中綴じのブックレット書類を、A3 のシート上に印刷する例です。

**注:** 中綴じブックレットを作成します。この印刷用語に慣れていない場合、オンラインガイドを参照して下さい。

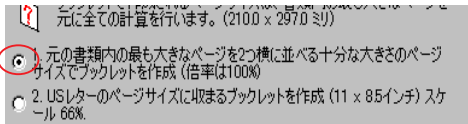
2) QI+ を起動するには、Acrobat のプラグインメニューから QI+ を選んで、コントロールパネルを選択して下さい。



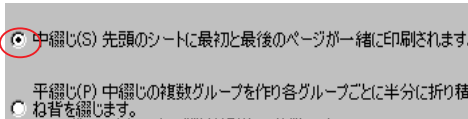
3) [ サンプル書類 ] をクリック、「新しいテストファイルの作成」に 32 を入力、ページサイズ A4(297 × 210) を選択して下さい。[OK] をクリックするとサンプル PDF 書類が作成されます。

[ ブックレット ] をクリック、チェックボックスにチェックが入っていないのを確認して下さい。

4) [次へ] ボタンをクリックして下さい。ダイアログが表示します。この例では、元の書類内で最も大きなページを 2 つ横に並べるのに十分な大きさのページサイズでブックレットの作成 (倍率は 100%) を選択しました。

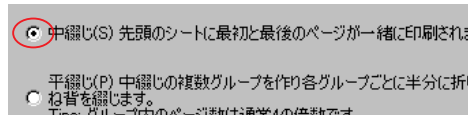


5) [次へ] ボタンをクリックして下さい。ダイアログが表示します。この例では、中綴じを選択しました。



6) [次へ] ボタンをクリックして下さい。ダイアログが表示します。

7) この例では、「互い違い (表 . 裏 . 表 . 裏)」通常 (片面だけ印刷する場合にも指定します) を選択しました。

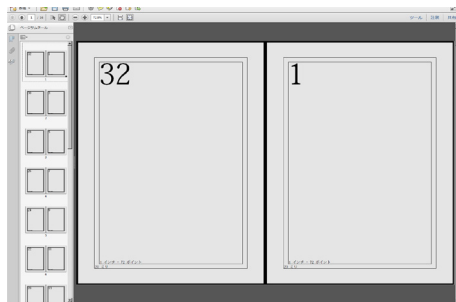


8) [次へ] ボタンをクリックして下さい。ダイアログが表示します。

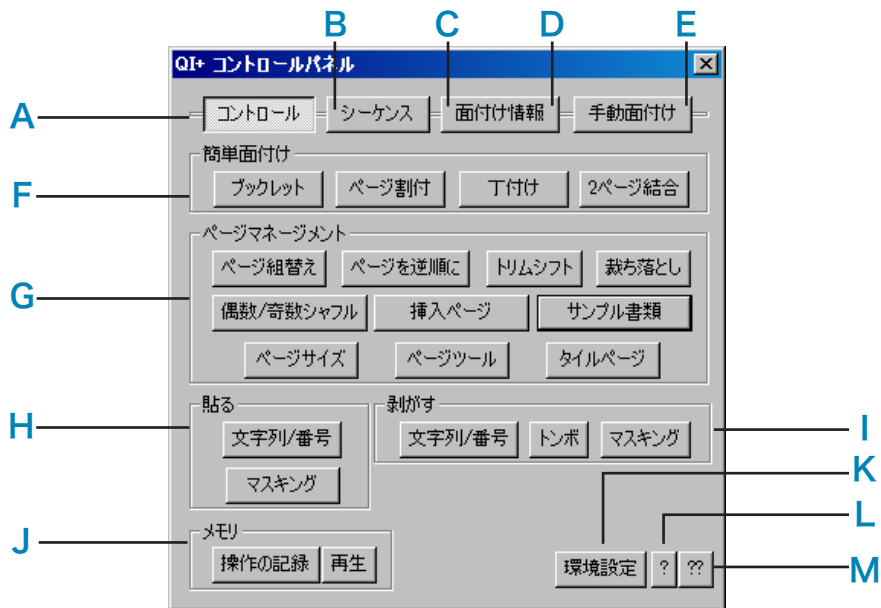
9) この例では、シートの各半分でページをセンタリング (通常指定) を選択しました。

10) 終了ボタンをクリックして下さい。

11) 完了した書類を印刷、保存できます。



## QI+ コントロールパネル



**A** 他のパネルからコントロールパネルへ戻ります。

**B** 複合的なコマンドを実行する自動化シーケンスを設定する為に、クリックして下さい。

**C** レイアウトとコマンド情報を表示する為にクリックして下さい。

**D** 手動面付けを実行する為にクリックして下さい。

**E** コントロールパネルを閉じる為にクリックして下さい。

**F** 簡単面付け [ブックレット、ページ割付、丁付け、2ページ結合] ボタン

**G** ページマネージメント [ページ組替え、ページを逆順に、トリム & シフト (クリーブ)、裁ち落とし、偶数 / 奇数シャフル、空白ページの挿入、サンプル書類、ページサイズ、

ページツール、タイトルページ] ボタン

**H** 貼り付ける [ページ番号、マスキング] ボタン

**I** 剥がす [ページ番号、トンボ、マスキング] ボタン

**J** メモリ [操作の記録と再生] ボタン

**K** [環境設定] ボタン  
新しいページサイズやバックグラウンドシート等の設定。

**L** [ヘルプ] ボタン  
オンラインガイドにアクセスします。

**M** ライセンス情報とプラグインバージョンを表示します。

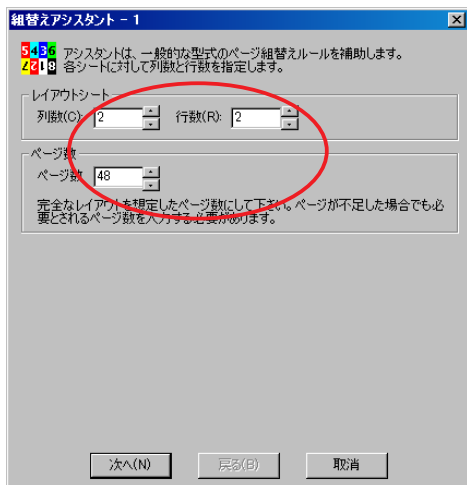
## ページ組替え

この例では、組替えアシスタントを使用して、48 ページ A4 の中綴じ (4 面付け) を設定する方法を示します。

- 1) 48 ページの PDF 書類を利用する為に、[サンプル書類] を使用してサンプルページを作成します。
- 2) QI+ コントロールパネル ( 又は QI+ プラグインのプルダウンメニュー ) から [ページ組替え] を選択して下さい。
- 3) 「作業中の書類を変更するか代わりに新しい書類を作成」 にチェックします。

**注：この動作は必須ではありません。しかし、オリジナルを保存していない場合、トラブルを未然に防げます。**

- 4) [組替えアシスタント] をクリックします。レイアウトシート の列数 2、行数 2、ページ数 48 を入力します。

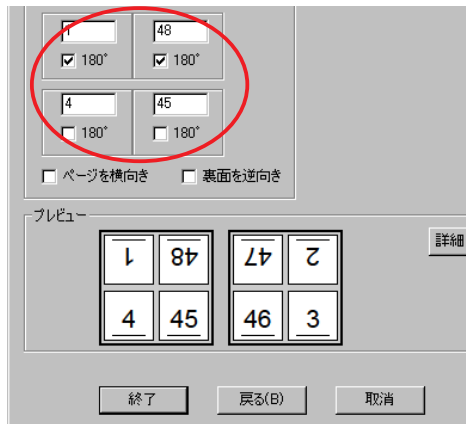


- 5) [次へ] ボタンをクリックします。

- 6) シート 1 (表) に 1(180°チェック)、48(180°チェック)、4、45 と入力及びチェックして下さい。

**注：ページを横向き、裏面を逆向き等の詳細は、オンラインガイドを参照して下さい。**

ページ番号と配置をグラフィカルに表示できません。

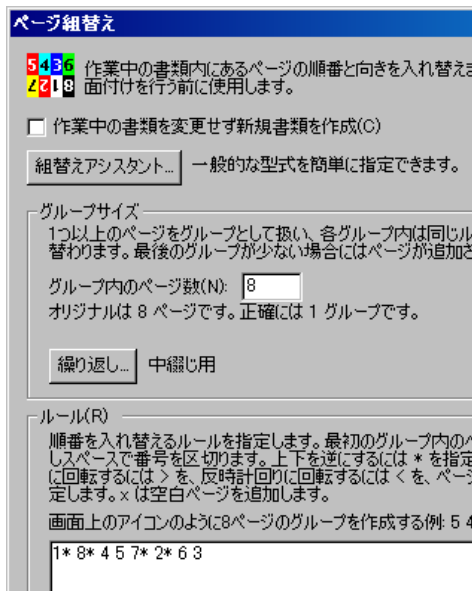


- 7) 次のシートを表示したい場合は、[詳細] をクリックして下さい。

- 8) [終了] ボタンをクリックします。

**注：アシスタントはジョブ全体のルールを記述する必要はありません。ルールは自動リピートされるので全てのページ数を記載する必要はありません。**

「グループ内のページ数」 8・[繰り返し] 中綴じ用・「ルール」 1\* 8\* 4 5 7\* 2\* 6 3 と設定されます。



9) [OK] ボタンをクリックします。

組替えアシスタントが折丁のグループサイズ及びルールを基に実行され、コントロールパネルに戻ります。

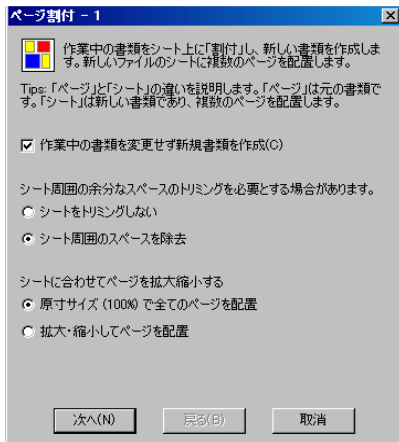
## ページ割付

ページ割付は最終出力シートにページを配置します。

上記の 48 ページ A4 中綴じ (4 面付け) のファイルを使用します。

1) コントロールパネルから [ページ割付] を選んで下さい。

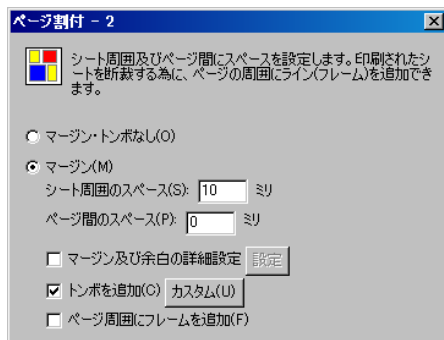
2) 「作業中の書類を変更するかわりに新しい書類を作成」にチェックします。  
「シートをトリミングしない」をチェックします。  
「いいえ、原寸 (100%) で全てのページを配置」をチェックします。



注：マージン及び余白の詳細設定が必要な場合オンラインガイドをお読み下さい。

3) 「マージン」「トンボを追加」をチェックします。  
[次へ] をクリックします。

注：[カスタム][スタイルの変更] ボタンをクリックしトンボのスタイルを5種類から選択できます。(この例では[シートの周囲のスペース] 15 mmを設定しています)



4) 「シートのサイズ・形状」メニューから最終出力サイズを選択するか、オンラインガイドのバックグラウンドの定義を参照して下さい。

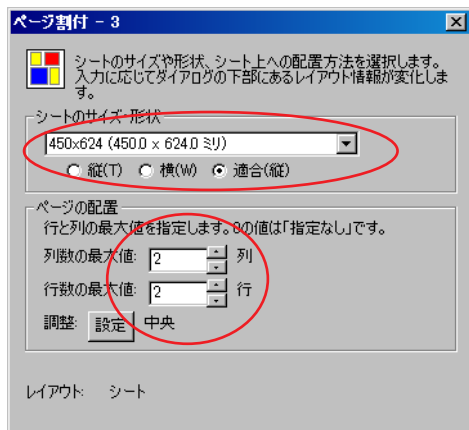
この例では、「カスタムサイズ作成」を選択します。

「サイズ・バックグラウンドの追加」ボックスが開きます。

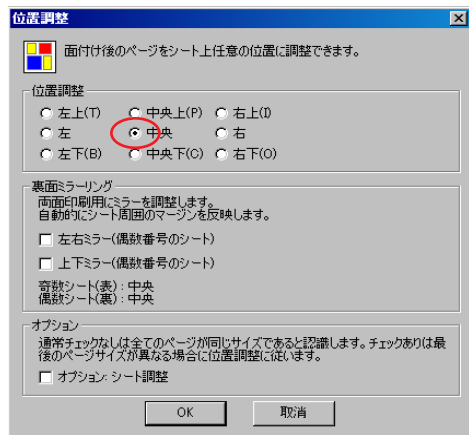
「空白のシートに対して新しいカスタムサイズを定義」にチェックを入れて下さい。

[次へ] をクリックします。

「新規カスタムページサイズ」ボックスに幅 450、高さ 624 のサイズを作成し選択、「適合(縦)」にチェック、「列数の最大値」2列、「行数の最大値」2行を選択します。

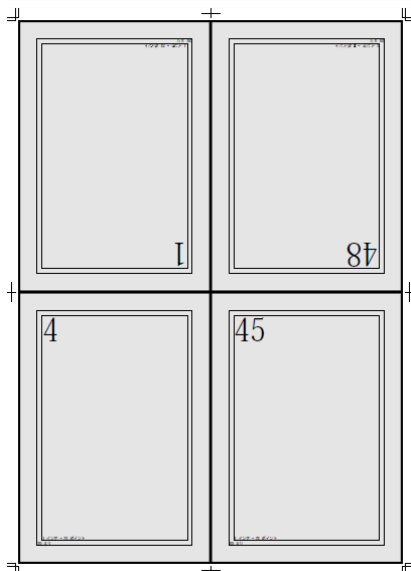


5) 調整:[設定] をクリックし、中央を選択し [OK] をクリックします。



6) [終了] ボタンをクリックし完了です。

ページ割付後の書類を確認して下さい。





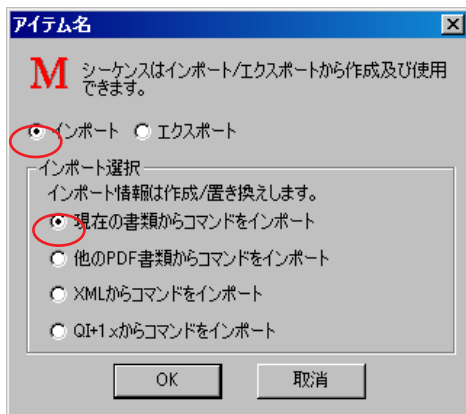
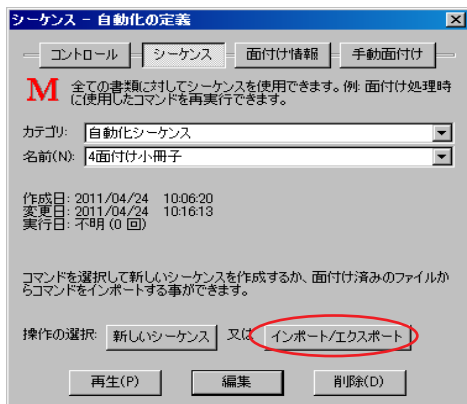
## 自動化シーケンス

QI+ は、コマンドのシーケンスを保存し、必要な時に実行する事を可能にします。同じジョブを容易に繰り返し使用する事ができます。48 ページのブックレット面付けに使用される場合は、以下ようになります。前ページで作成した面付け後の PDF 書類を使用します。



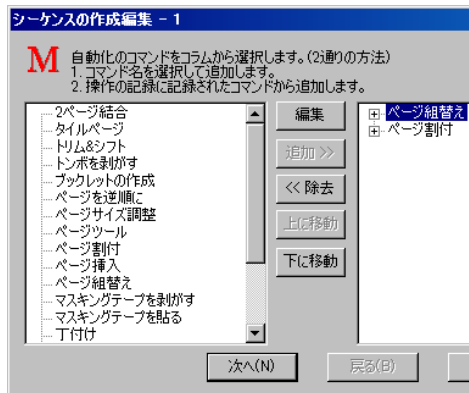
## 面付け例

- 1) QI+ コントロールパネルから [シーケンス] を選ぶ事でシーケンスダイアログボックスが開きます。[インポート/エクスポート] 等があります。[インポート / エクスポート] をクリックして下さい。
- 2) インポートオプションを選択して下さい。「現在の書類からコマンドをインポート」します。[OK] をクリックします。



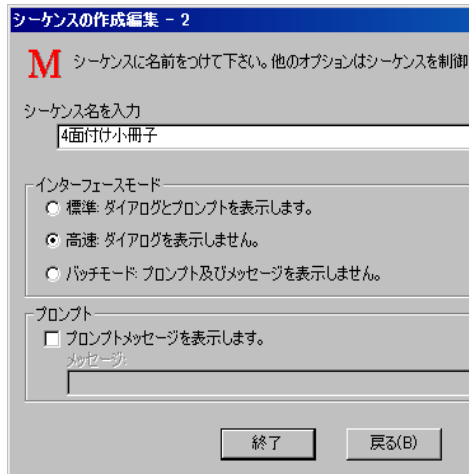
- 3) ページ組替えコマンドとページ割付コマンドを、シーケンス画面の右側に表示します。

コマンドの再編集を行う事ができます。通常は [次へ] をクリックします。



- 4) 自動化シーケンスの名前を入力する事ができます。ここでは 4 面付け小冊子とします。

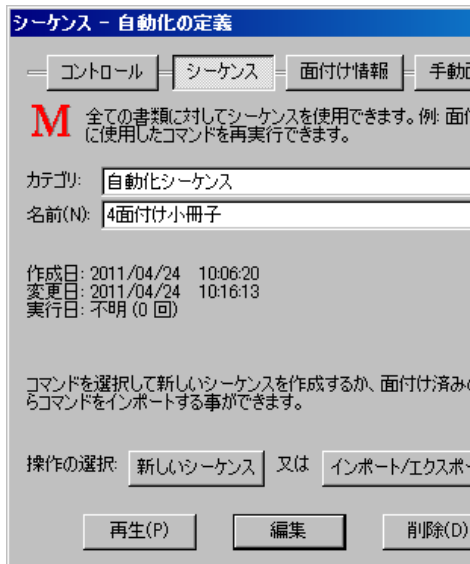
他のオプションを変更しないで、[終了] をクリックして下さい。



- 5) ファイルを全て閉じ、Acrobat を再起動後、48 ページ A4 のサンプル書類を作成して下さい。

シーケンスを開き、4 面付け小冊子になっているか確認して下さい。[再生] をクリックして下さい。

プロンプトなしで再度作成されます。この機能は繰り返し処理を行う場合、作業時間を短縮できます。

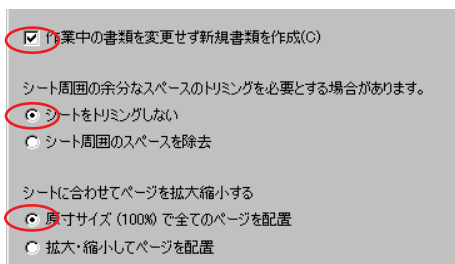


## 丁付け

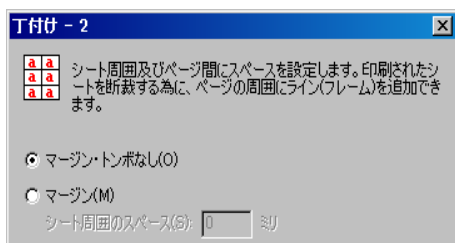
丁付けを利用する事で、簡単にページの丁付け(名刺作成等に利用)ができます。

この例では、1ページのPDF書類を2丁付けする方法を示します。

- 1) [サンプル書類] で1ページA4サイズの書類を作成します。
- 2) QI+ コントロールパネル (又は QI+ プラグインのプルダウンメニュー) から [丁付け] を選択して下さい。
- 3) 「作業中の書類を変更せず新規書類を作成」、「シートをトリミングしない」、「原寸(100%)で全てのページを配置」をチェックします。  
[次へ] をクリックします。

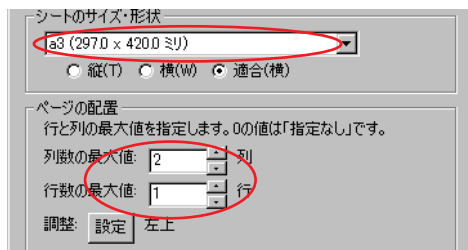


- 4) マージン・トンボの設定画面が表示されます。ここではマージン・トンボは設定しません。  
[次へ] をクリックします。

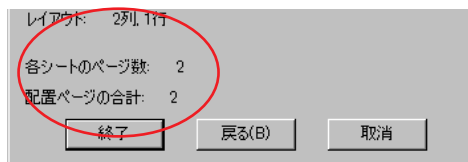


- 5) 「シートのサイズ・形状」メニューから最終出力サイズを選択するか、オンラインガイドのバックグラウンドの定義を参照して下さい。

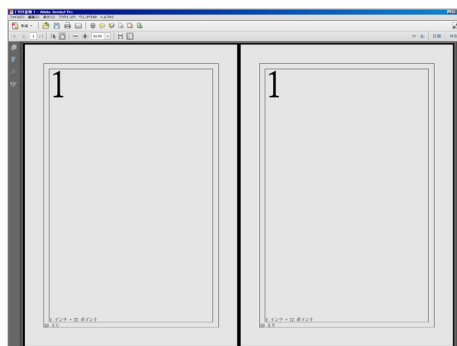
この例では、A3サイズを選択します。ページの配置「列数の最大値」2・「行数の最大値」1を入力します。



ダイアログボックス下部に、1枚のシートごとのページ数、及び配置されるページの合計を表示します。



- 6) [終了] ボタンをクリックします。  
2丁付けレイアウトが表示されます。

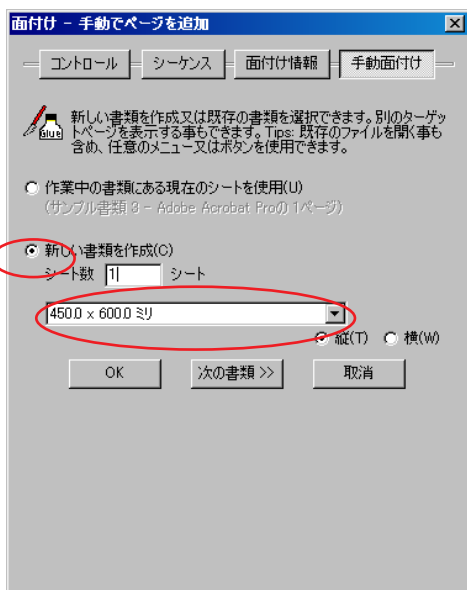


- 7) 完了した書類を印刷、保存できます。

## 手動面付け

- 1) [サンプル書類] で 3 ページ A4 サイズの書類を作成します。
- 2) QI+ コントロールパネル ( 又は QI+ プラグインのプルダウンメニュー ) から [手動面付け] を選択して下さい。
- 3) [ターゲットの変更] をクリックします。ダイアログボックスが表示されます。

この例では、「新しい書類を作成」からカスタムサイズで 450X600 サイズを作成し ( カスタムサイズ作成は、注: を参照して下さい ) ポップアップより選択します。



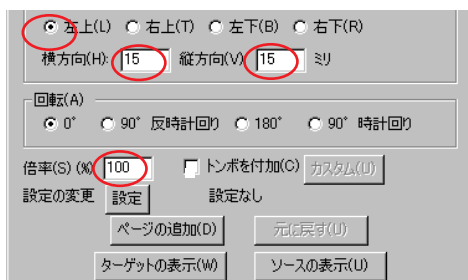
注: 「カスタムサイズ作成」を選択し新規シートを作成できます。「空白のシートに対して新しいカスタムサイズを定義」を選択 [次へ] をクリックし、幅・高さを入力し名前を付けて登録します。

作成されたサイズはリストに加えられます。

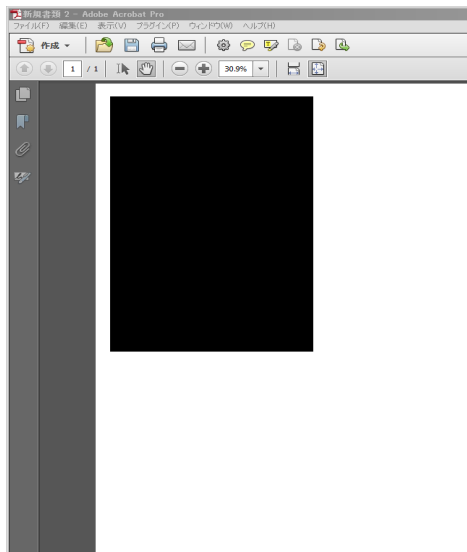
4) [OK] をクリックするとターゲットページが選択されます。

- 5) 「ソースの選択」をクリックします。面付けをしたい書類ではない場合、「次の書類」をクリックします。目的の書類が表示されたら [選択] ボタンをクリックして下さい。オフセット・回転・倍率を入力することで、ソースの配置位置を設定できます。

この例では、オフセット左上、横方向 15・縦方向 15・倍率 100% です。



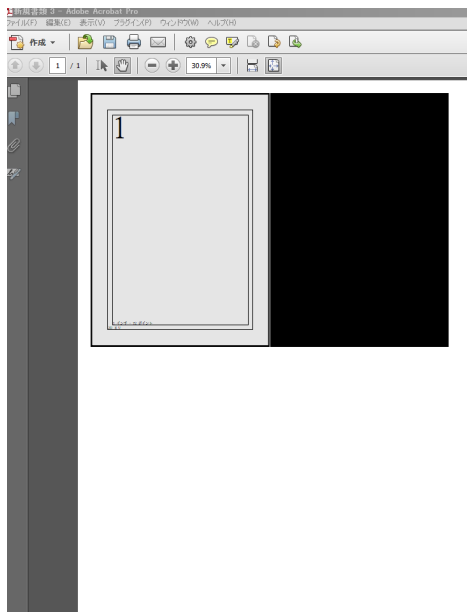
- 6) [ページの追加] をクリックします。ターゲットシートにソースが貼られその部分は強調されています。



7) 2 ページ目を設定します。

注：挿入ページ数は自動で増加します。(異なるページ又は異なる書類を貼る場合は、「ソースの選択」をクリックします)

例：2 枚目のオフセットを右上・横方向 15・縦方向 15・回転 0°・倍率 100% とします。

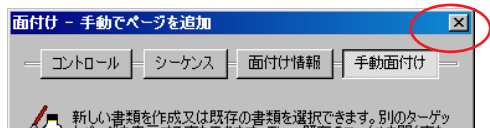


[ページの追加] をクリックすると 2 枚目が貼られます。

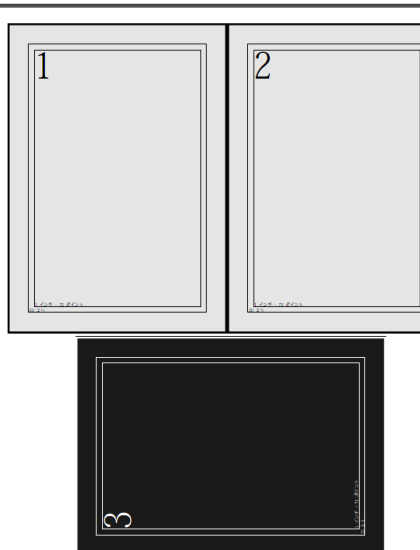
8) 3 ページ目を設定します。

オフセット左下・横方向 70・縦方向 78・回転 90° (反時計回り) 「ページの追加」をクリックすると 3 ページ目が貼られます。

9) コントロールパネルの [閉じる] をクリックします。



手動面付け後の PDF を表示しています。



10) 完了した書類を印刷、保存できます。

## トリムシフト

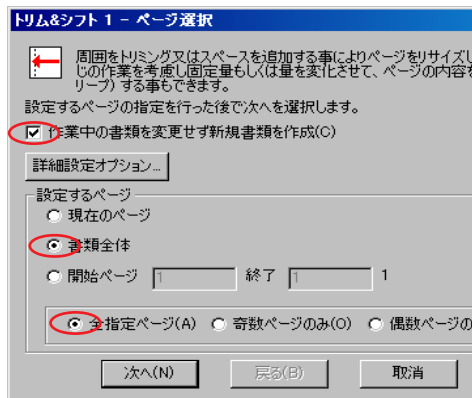
ここでは、ページのサイズを変更しページの内容を移動させる事ができます。トリム&シフトについての詳細はオンラインガイドを参照して下さい。

**例：大きなシートに書類をセンター配置する為にどのように「トリム&シフト」を使用する事ができるのかを示します。**

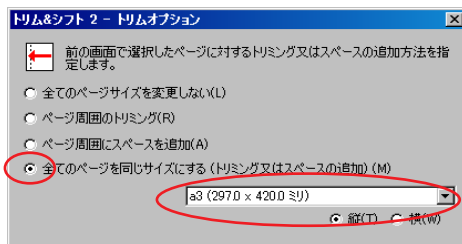
トンボを備えた書類 A4 サイズを A3 サイズのシートにセンター配置します。

- 1) [サンプル書類] で 1 ページ A4 サイズの書類を作成します。
- 2) QI+ コントロールパネル ( 又は QI+ プラグインのプルダウンメニュー ) から [トリムシフト] を選択して下さい。
- 3) 「作業中の書類を変更するかわりに新しい書類を作成」にチェックします。設定するページ「書類全体」・「全指定ページ」にチェックします。  
[次へ] ボタンをクリックして下さい。

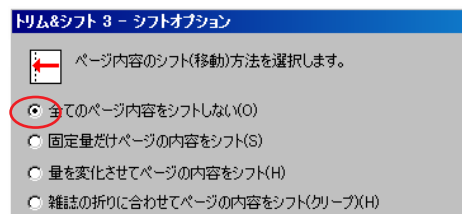
**注：トリムシフトする場合は、常に新しい書類を作成する事をお薦めします。**



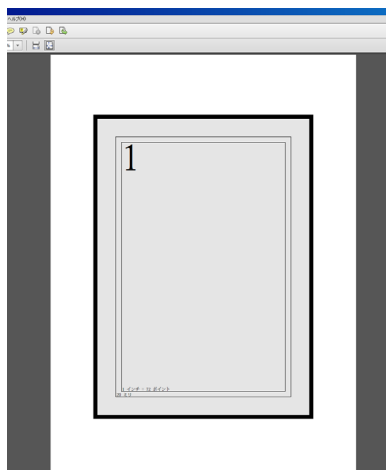
- 4) 「すべてを同じサイズにする (トリミングもしくはスペースの追加)」 をチェック、続いてポップアップから A3 ・「縦長」 を選択して下さい。  
[次へ] をクリックします。



- 5) 「全てのページ内容をシフトしない」 を選択、[終了] をクリックして下さい。

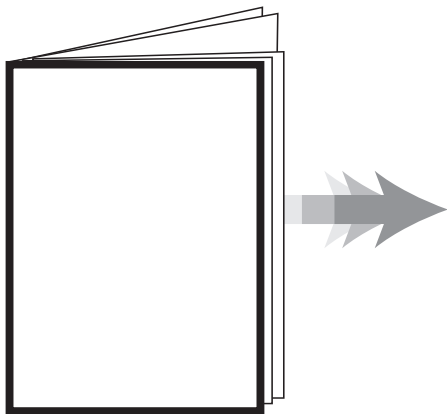


**注：トリム&シフトの特徴は書類のトリミング、シフト、センタリングと共に、書類を徐々に移動させてクリーブさせる事ができます。**



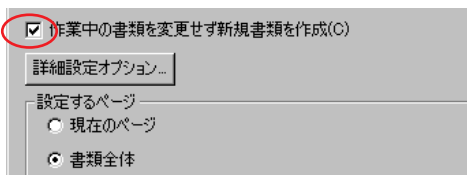
## クリープ設定

折丁を積み重ね、半分に折り中綴じする場合、折り重なった紙の厚さ分内側のページは外部にせり出します。これはクリープ（せり出し）と呼ばれます。

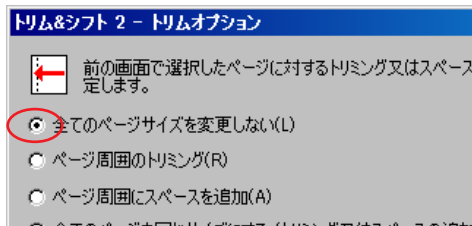


例：72 ページの書類を 2 面付けの中綴じで小冊子を作成する時のクリープ設定を示します。

- 1) [サンプル書類] で A4 サイズの書類を 72 ページ作成します。
- 2) QI+ コントロールパネル ( 又は QI+ プラグインのプルダウンメニュー ) から [トリムシフト] を選択して下さい。
- 3) 「作業中の書類を変更するかわりに新しい書類を作成」をクリックして下さい。  
[次へ] ボタンをクリックします。



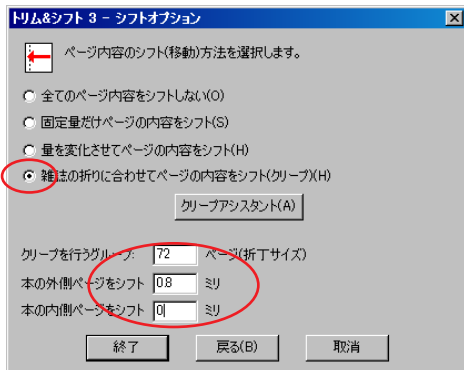
- 4) 「すべてのページサイズを変更しない」にチェックします。[次へ] をクリックします。



- 5) 「雑誌用の折りにあわせてページの内容をシフト (クリープ)」 にチェックを入れてクリープ設定を行います。

- ① クリープを行うグループ 72 ページ
- ② 本の外側のページをシフト 任意の数値
- ③ 本の内側のページをシフト 0

この例では ( ① =72 ) ・ ( ② =0.8 ) ・ ( ③ =0 ) と入力しました。



注：クリープ設定はページ組替えの前に使用して下さい。

## 裁ち落とし設定

既に裁ち落とし情報が適用された書類に対して更に裁ち落とし設定ができます。また、裁ち落としの確認もできます。

1) 最初に、裁ち落とし情報を含んだ書類を作成する必要があります。これは、Illustrator®、InDesign® 等様々なアプリケーションから、Acrobat で開く事ができる PDF として保存されたものです。

**注：PDF の作成時に書類の周囲に十分なスペースを追加して下さい。追加されない場合、正確なサイズとマークを備えた PDF になりません。**

**(PDF/X-1a・X-3 等の書類です)**

2) Acrobat を起動し書類を開きます。この例では、32 ページ、A4(210mm x 297mm) で裁ち落とし (BleedBox) とトンボのある PDF です。

**注：出力サービス会社ではファイルを受け取り、書類に既に含まれた裁ち落とし (BleedBox) を利用します。QI+ は、これを理解します。又、「簡単面付け」や「裁ち落とし」の機能で利用が可能です。**

3) Acrobat メニューのプラグインから QI+ を選択し次に、コントロールパネルから [裁ち落とし] のボタンをクリック又は、プルダウンメニューから [裁ち落とし] を選びます。ダイアログボックスが表示されます。

4) この例では、裁ち落とし (BleedBox) がハイライトによって表示されます。それが適切な場合、「閉じる」ボタンで終了して次の処理に移ります。調整する必要がある場合は適切な設定を選択して最後に「適用」ボタンをクリックして下さい。

**注：ページが InDesign® 等から作られた PDF の場合、既に書類内に裁ち落としが設定されているはずですが、この場合、裁ち落とし定義された裁ち落とし範囲は、強調されて表示されます。これを QI+ では、ページサイズ (内包 Bleed Box) として使用します。**

5) [ページ組替え] を選択し [繰り返し] ボタンをクリックして「中綴じ用」を選択します。

グループサイズ：4・ルール：4 1 2 3

**注：これは 4 ページの小冊子の為のページ順序を示します。この設定を基にページ組替えが繰り返されていきます。[OK] ボタンをクリックして下さい。**

6) [ページ割付] を選択・「シートの周囲のスペースを除去」・「いいえ、原寸 (100%) で全てのページを配置」。

[次へ] ボタンをクリックして下さい。

7) マージンを設定します。適切なマージンをここでは 15mm にします。

必要に応じてトンボを追加する事ができます。

[次へ] のボタンで進みシートサイズ (出力サイズ) を選びます。シートサイズは大き目のサイズを選択して下さい。

適切なサイズがない場合、「カスタムサイズ作成」で追加できます。

列数 2、行数 1 で [終了] ボタンをクリックして下さい。

これで裁ち落とし (BleedBox) 設定を基にした小冊子が作成されます。



## 文字列と番号を貼りつける

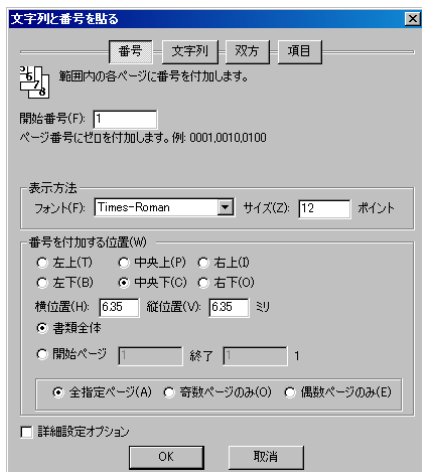
書類を作成する仕事では、出力する時まで、最終的な完了ページ数が分からないことがあります。

又は、一部の書類を作る為に複数の書類を収集します。これらには後から番号を付ける必要が生じます。

ページ番号を貼りつける機能が簡単に実現できます。

- 1) PDF 書類を開きます。
- 2) QI+ を動作するには、Acrobat のプラグインメニューから QI+ を選んで下さい。次に、コントロールパネルを選択して下さい。
- 3) [文字列 / 番号] をクリックします。

(番号) を選択  
ページ番号だけを付加します。



- 4) 選択し設定した後、[OK] をクリックします。  
書類の全体を通してページ番号を表示します。

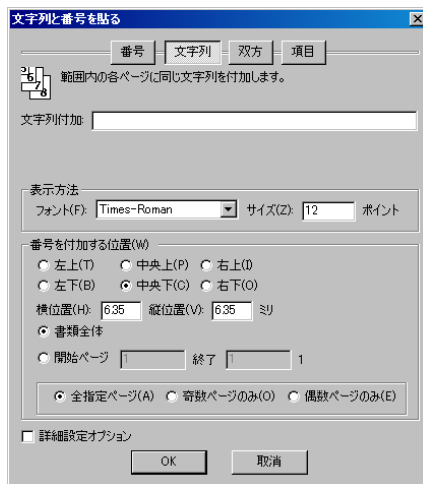
注：既に番号の入った書類の場合、古い番号を変更する為に、[マスキング] を使用します。

教育機関や、政府機関等でスタンプされる通し番号機能が加わりました。これは、ページ番号の頭に 0 を加える事を可能にします。

例：仮にユーザーが 0098 を入力すれば、番号は 0098、0099、0100、0101 のように番号が付加されます。

0098
0099
0100

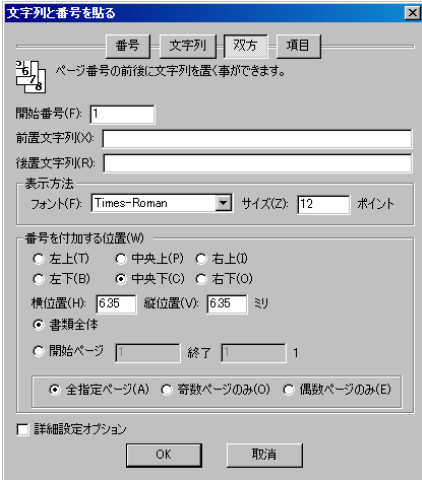
- 5) (文字列) を選択  
文字列だけを付加します。



- 6) 選択し設定した後、[OK] をクリックします。  
書類の全体を通して文字列を表示します。

7) (双方) を選択

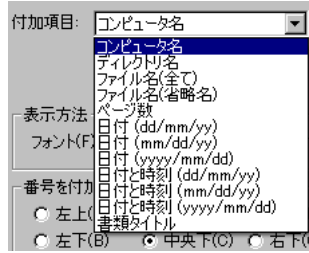
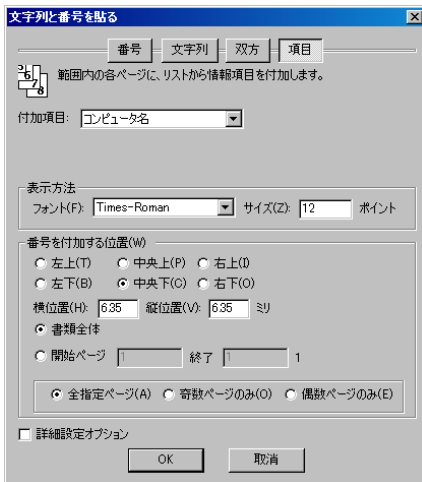
ページ番号と前置文字列、後置文字を付加します。



8) 選択し設定した後、[OK] をクリックします。

書類の全体を通してページ番号と前置文字列、後置文字を表示します。

9) (項目) を選択



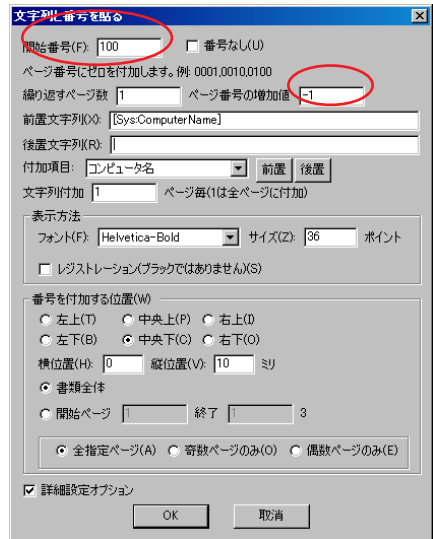
一部の付加項目は 2 バイト表記に対応していません。

10) 選択し設定した後、[OK] をクリックします。

書類の全体を通して選択した項目を表示します。

**注:** (開いてるページから始めて) 貼り付けるページ数・前置文字列・後置文字列・テキスト・付加項目・フォント・サイズ・配置位置等が選択できます。

11) 詳細設定オプション



ページ番号を増加させる増量分と、ページ番号増加値にマイナスを入力すると逆に減少が可能です。